

改良と育成技術の向上を図る 県ホルスタインジュニアショウ



(株)サウザンドリーフ出品のグランドチャンピオン受賞牛(4月27日、青森県七戸町で)

青森県ホルスタイン改良協議会は4月27日、第11回青森県ホルスタインジュニアショウを七戸町の青森県家畜市場で開きました。最高位賞のグランドチャンピオンに、第4類チャンピオン賞のJAおいらせ酪農部の(株)サウザンドリーフ出品牛「サウザンドリーフ ロツタヒル ゼンブラー クラツシャー」が選ばれました。

ジュニアショウにはJAおいらせ、JAゆうき青森、JA十和田おいらせ、JA八戸の4JAから合わせて28頭が参加し、生後28か月未満までの未経産牛が月齢を基準にした4類の区分で審査されました。

放牧スタート

4月26日に六戸町牧野畜産農業協同組合で、5月7日に三沢市営牧場でそれぞれ開牧しました。11月中旬まで約半年間、衛生検査や疫病予防対策を受けながら広い牧場で過ごします。

牧場では農家からホルスタインや黒毛和種がトラックで運び込まれ、牧場の新鮮な牧草を食べ、仲間と広い牧野を駆けていました。



三沢



六戸



JAおいらせ杯少年少女スポーツ大会 選手の健闘称え入賞チームへ米を贈る

三沢市東部北部地区少年スポーツ親睦会は4月20日から2日間、三沢市立三沢小学校グラウンドと体育館で第19回JAおいらせ杯少年少女スポーツ大会を開き、JAは選手の活躍と健闘を称え、上位入賞チームへ地元産米をプレゼントしました。

三沢市、六戸町、おいらせ町から、少年野球7チーム、女子バレーボール8チームが参加。開会式でJAの種市利雄専務が「親睦を目的とした大会なので交流を深めてほしい」と選手を激励しました。選手は新学期に入り初めての大会で、それぞれの競技で熱戦を繰り広げ、同親睦会の田中継美会長は「地域の競技レベルが上がっている、これからも切磋琢磨して地域を盛り上げてほしい」と選手の健闘を称えて、優勝チームにJAが贈った地元産米「まっしぐら」を10kg、準優勝と3位チームに5kgを手渡しました。



女子バレーボール優勝の岡三沢VBC

【少年野球の部】	
優勝	FKクラブ
準優勝	木崎野ライオンズ
第3位	大曲アース

【女子バレーボールの部】	
優勝	岡三沢小VBC
準優勝	木崎野小クラブ
第3位	三沢小VBC A・きのしたSSV

病害予防の防除徹底を呼び掛け にんにく講習会



JAおいらせやさい推進委員会にんにく部会は4月19日に六戸支店で、23日に谷地頭予冷庫でにんにく講習会を開きました。平年より生育が進んでいることから、JAと県の担当者は病害虫の防除の徹底を呼び掛け、圃場をよく確認し、生育状況に応じた適正管理を促しました。

上北農業普及振興室三沢分室の泉山佳子主幹が管内2か所ですべて調査する生育観測圃から、生育は3月下旬から4月上旬にかけての低温と降雪の影響で平年並みからやや劣る状況と報告。病害は降雨時の土のはね返りで感染し発生するため、降雨1~2日目の予防防除の徹底を促しました。



今後の管理作業について指導を受ける参加者(六戸地区)

そらまめ現地講習会



栽培ポイントを確認する生産者

やさい推進委員会六戸地区予冷野菜部会は4月23日、そらまめ現地講習会を開きました。6月中旬の収穫を見込み、乾燥と風対策への取り組みと、追肥後のこまめな灌水を呼びかけました。六戸町の久田正孝さんの圃場で、みかど協和株式会社東日本支店の榊原繁樹さんが今後の栽培管理を指導し、安定した3粒莢の収穫のため整枝と誘引で受光性確保し、莢のつき始めから収穫期までは水を切らさないよう呼び掛けました。六戸地区での栽培は5年目。先進地への視察研修や現地講習会を継続的に行い、秋の土作りと3月中の定植によって10アールあたりの収量が3年前に比べ約2倍と収量増加につながっています。

望まない受動喫煙を防止のためご協力をお願いします

JAは4月中旬から建物内の禁煙を実施しています。望まない受動喫煙をなくす環境づくりのため、組合員やJA利用者のご協力をお願いいたします。

